

4月初めにこの編集後記の依頼があり、ちょうど新元号「令和」の発表と重なりました。本号がお手元に届く頃には、新元号のもと気分を切りかえスタートしている人も多いでしょう。「令」の漢字は“おきて”や“いいつけ”など強制的な印象も受けるため、違和感をもった人も多いかと思いますが、「令」には“清らかで美しい”という意味も含むため「令和」は“人々が美しく心を寄せ合う中で、文化が生まれ育つ”という説明も発表と同時に補足されております。また、英語表記では「Reiwa」としながらも、対外的には「Beautiful Harmony」との英訳も付け加えております。

このように、わずかな文字の配列やささやかな言葉でさえも、発する側の意図と受け取る側の心証に乖離が生じることは往々にして経験します。発信から理解のプロセスには一定の時間や説明を要するのももちろんのこと、お互いの立場やキャリア、知識や感情、その場の雰囲気などさまざまな要因が言葉のニュアンスに影響を与えることも多いからです。臨床の立場からすると、時間的余裕のない外来診療などでは、悪気のない言葉でも医師からの短絡的かつ無配慮な一言が患者さんにとって疾病以上の精神的ダメージや心理的足かせになってしまうこともあります。

脊髄脊椎疾患は加齢変性に伴う疾患が主体であり、決して悪性の経過を辿るわけではありません。一方、加齢変化は誰にも止められない自然現象であり、自分がさらに歳を重ねた場合にどうなるのだろうという心配は払拭できません。また、いかにハイテク、低侵襲手術であったとしても、手術を提示された際の患者さんの心境は動揺が少なくありません。限られた時間であっても患者さんの生活環境や価値観を察し、病状的確な説明とともに信頼され勇気づけられる言葉選びができる医師になりたいものです。

さて、本号は園生雅弘先生のライフワークともいえる神経生理検査に関する特集です。生体から発せられる電気生理学的現象を正しく計測し、検出データを正しく解釈しなければなりません。これには、発信されるべき情報を効果的に収集し、正確に理解判断する技量も必要となります。鑑別すべき疾患の多い脊髄脊椎領域において確定診断に至るための重要な検査法であり、熟読すべき内容となっております。執筆者の先生方には貴重な論文を提供していただき深謝いたします。

(高橋敏行)

脊椎脊髄ジャーナル

編集顧問

萬年 徹 高橋 昭 金田清志
小山素麿 小柳知彦 田代邦雄
国分正一 服部孝道

編集委員

徳橋泰明 (編集委員長)
金 彪 (副編集委員長)
青木茂樹 亀山 隆 園生雅弘
高橋敏行 高安正和 谷 論
永島英樹 中村雅也 根尾昌志
飛驒一利 松山幸弘 山崎正志

Vol. 32 No. 5
(2019 年 5 月 25 日発行)

毎月 1 回 25 日発行

1 部定価 (本体 5,400 円 + 税)

(配送料別)

年ぎめ予約購読料 30,700 円 + 税

送料弊社負担

発行/株式会社 三輪書店
代表者 青山 智

〒113-0033

東京都文京区本郷 6-17-9

本郷網ビル

TEL 03-3816-7796

FAX 03-3816-7756

URL <http://www.miwapubl.com/>

(担当: 山岸)

印刷所/三報社印刷株式会社

TEL 03-3637-0005

広告申込所/

(株)文栄社

TEL 03-3814-8541

(株)ハイブリッジエージェンシー

TEL 03-3814-0089

本誌の内容の無断複写・複製・転載は著作権・出版権の侵害となることがありますのでご注意ください。

Published by MIWA-SHOTEN Ltd.
6-17-9 Hongo, Bunkyo-ku, TOKYO © 2019,
Printed in Japan

JCOPY 出版者著作権管理機構 委託出版物
本誌の無断複製は著作権法上での例外を除き禁じられています。複製される場合は、そのつど事前
に、出版者著作権管理機構(電話 03-5244-5088,
FAX 03-5244-5089, e-mail: info@jcopy.or.jp)の
許諾を得てください。